

「令和4年度自主防災組織等のリーダー育成のための研修会」実施支援事業における
「自主防災組織担当職員向け研修会」（宮城県・東京都・奈良県・広島県・宮崎県・秋田県男鹿市）

単元	単元の学習項目 (大項目)		単元の学習項目 (中項目)		各単元の学習内容 (学習項目の概要)	所要(分)		備考
						詳細	計	
1 限目 災害発生 の危険性と避難	1	発災の直前・直後に命を守る<B11>	1	災害時にとるべき行動（全般）<C26>	地震災害や風水害等、災害発生直後から時間を追った形での行動・対応の流れを学ぶ。	10	50	どのような状況になったら避難判断をし、どのような対応をするか整理。 ハザードマップ等を用いて、避難先と避難経路を検討。避難行動上のポイントを整理。
			2	避難に関する情報の収集<C27>	気象に関する情報や緊急地震速報、避難勧告等の避難情報を入手する方法、情報の読み方、情報に基づく基本的な行動について学ぶとともに、避難に関する情報を活用するためのスキルを身につける。	20		
			3	安全な避難行動<C28>	安全な避難先や避難路の選定方法、避難の方法、地域における避難誘導や避難支援の方法について学ぶとともに、避難行動要支援者を含め、地域住民の安全な避難行動に必要なスキルを身につける。	20		
2 限目 被害を最小限とするための 取り組みと地域に対する防 災知識の普及	1	わがまち（地域）の防災体制をつくる<B8>	1	地域の情報収集・伝達<C20>	災害時に地域で収集・伝達すべき情報の種類や内容、災害時における課題、体制づくりの必要性について学ぶ。	20	45	どんな人が要配慮者か、避難時にどんなことに困るか、その対応のポイントを整理。
			2	要配慮者の地域ぐるみでの支援体制<C22>	要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児・妊婦・負傷者・外国人等）と避難行動要支援者の意味、要配慮者の特性等について学ぶ。また、災害時における要配慮者の支援の必要性、要配慮者の特性に応じた支援体制づくりの方法、配慮の方法を整理したマニュアル作成について学ぶ。（避難行動要支援者への避難支援も含む。）	25		

※Zoomミーティングを使用したオンライン研修会のため、グループワークの実施を含んだ標準的なカリキュラムとは所要時間が異なる。